

(様式1)

## 平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 033	提案機関名 農業技術センター三浦半島地区事務所
<b>要望問題名</b> エンバク褐斑細菌病とアブラナ科野菜黒斑細菌病の因果関係の解明について	
<b>要望問題の内容</b> 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 エンバク褐斑細菌病に関する特殊報が長野県から発表され、緑肥用エンバクの褐斑細菌病がアブラナ科野菜の黒斑細菌病の要因になっていると報告された。長野県では冬場にエンバクを利用し、その後作にキャベツ等のアブラナ科野菜の作付けがあるが、三浦半島では夏場にエンバクを利用し、高温期に十分に腐熟させた後に、後作のアブラナ科の作付けとなっているため、長野県と本県では気象条件、作型が異なっている。 そこで、三浦半島におけるエンバク褐斑細菌病とアブラナ科野菜の黒斑細菌病の因果関係について明らかにすることが必要である。 ダイコン作付面積 三浦市719ha 横須賀市21ha キャベツ作付面積 三浦市759ha 横須賀市355ha(平成22年度野菜生産出荷統計)	
<b>解決希望年限</b>	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術所 <input type="checkbox"/> 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター
<b>備考</b>	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	三浦半島地区事務所
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可		
<b>試験研究課題名</b> ( 、 、 の場合) 病害虫防除・予察技術の開発及び改善 病害虫の診断同定及び発生生態の解明に基づく予察・防除技術の確立			
<b>対応の内容等</b> 三浦半島地区でも本件について確認して対策を講ずる必要があると考えます。現在のところエンバクに本病が発生しているか確認されていないので、まず春夏期にエンバクにおける褐斑細菌病の発生状況を確認し、発生を認めたら菌の分離・同定、各種アブラナ科野菜への病原性の確認、秋冬期アブラナ科野菜に発生した黒斑細菌病の分離・同定を行い本病原細菌との比較(pathogenic varietyの比較)を行い、同一の病原細菌が発生していることを確認して対策を立てる必要があります。逆に通常のアブラナ科野菜黒斑細菌病菌がエンバクに寄生して越冬する状況など発生生態などについても調査できるかもしれません。まずは現地での本病の確認調査等にご協力をいただき、発病の確認や菌の分離について診断・同定の課題で対応いたします。			
<b>解決予定年限</b>	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>		
<b>備考</b>			